

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	市民フェスティバル開催支援事業	所管	市民経済部 コミュニティ推進課
			TEL 2998-9083

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民フェスティバルを通じて、心のふれあいのある地域社会を創造し、コミュニケーションの場を提供する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民及び団体、企業等	対象とした数	340,203	人
		実際に 利用した数	200,000	人

活動の内容	(何を したか)	①実行委員会を組織して事業を実施する。 ②実行委員は、関係団体からの推薦、有識者及び市民からの公募により構成する。 ③市民から企画案を募集し、実行委員会で選考して採用された企画、及び実行委員会企画に基づき参加者を公募する。 ④採用された企画・運営に対して補助金を交付するとともに、実行委員会として管理・運営に携わる。 ⑤会場設営業者、警備業者及び清掃業者を入札により決定し、業務の委託を行なう。 ⑥フェスティバルを開催する。								
	活動実績	項目名	実行委員数	28	項目名	参加団体数	457	項目名	来場者数	20
			-----	-----		-----	-----		-----	-----
			単位	人		単位	団体		単位	万人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	10,000	10,000	23,152	68.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	来場者率	人口当たりの来場者率	34	20	58.8
			-----	-----	-----
			単位	単位	単位
			万人	万人	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []								
		終了		⇒ 事業完了		終了		休止		
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了											
	総合 評価	拡充 縮小		統合		改善・効率化		改善余地なし		その他 []		終了
	予算	現状どおり		増額		減額		終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	030100	TEL	2998-9083
030116	市民フェスティバル開催支援事業	市民経済部	コミュニティ推進課			
開始年度	昭和 55 年度	→	終了年度	平成 年度		

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令					
分野別計画・指針									
②事業の概要	総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	2節 市民活動	中柱	1 市民活動の支援	小柱	(1)コミュニティづくりの促進
の	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 30 位		実施計画における位置づけ…		H19	<input type="checkbox"/>	H20	<input type="checkbox"/>	
要	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	1131	計画段階からの市民参加の充実	コード	1231	市民組織の自立支援	コード	
事業開始の背景	市制施行30周年を記念して、市主催で第1回を開催した。第2回からは、市民手づくりの祭典として市民からなる実行委員会を組織し、企画から運営までを手がけるものとなった。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)	市民フェスティバルを通じて、心のふれあいのある地域社会を創造し、コミュニケーションの場を提供する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 市民フェスティバルの来場者									
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 19 年度	340,203	人	平成 19 年度	200,000	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	①実行委員会を組織して事業を実施する。 ②実行委員は、関係団体からの推薦、有識者及び市民からの公募により構成する。 ③市民から企画案を募集し、実行委員会で選考して採用された企画、及び実行委員会に基づき参加者を公募する。 ④採用された企画・運営に対して補助金を交付するとともに、実行委員会として管理・運営に携わる。 ⑤会場設営業者、警備業者及び清掃業者を入札により決定し、業務の委託を行なう。 ⑥フェスティバルを開催する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点	より公正な運営を行うために、市民バザールコーナーの規模を縮小し、一店舗あたり3区画の応募条件から1区画に変更したことにより、各店舗における責任体制を明確にした。また、ふれあいステージ及び楽しい街角歌のフェスティバルコーナーについては、ステージの屋根をなくし、ステージの大きさを縮小するなど経費節減に努めた。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		10,000	10,000	9,500
	決算(見込み含む)		10,000	10,000	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	1.30 人	11,960	1.40 人	13,152
	公債費				
	事業費合計		21,960	23,152	
	財源内訳	一般財源	21,960	23,152	9,500
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		65.0	68.3	
	利用数一単位あたり(単位:円)		39.9	115.8	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	実行委員数	運営をする実行委員への応募者数	人	24	28	36	40
		参加団体数	抽選により参加することができる参加団体数	団体	435	457	450	460
		来場者数	開催2日間に来場した延べ人数	万人	55	20	40	40
成果分析	来場者率	人口当たりの来場者率	万人	目標値	34	34	35	35
			%	実績	55	20	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
				達成率	161.8	58.8		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大す <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 実行委員会
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	市民バザールコーナーの規模を大幅に縮小したことにより、各店舗が混雑してしまい一部に混乱が生じた。今後は公正性を保ちつつ、規模を一昨年度に拡大していく。また、19年度は台風の接近により、設置物が飛倒壊したため、今後、緊急時の危機管理体制の強化を行う。		
目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	市民バザールコーナーの改善	公正性を保ちつつ、来場者の利便性を考え一定程度規模を拡大する	平成20年8月	
	実行委員会の自立支援	実行委員の人数を増やし、開催方法等について見直しを行ない、実行委員会が自主的にフェスティバルを開催運営できるように支援していく。	平成23年3月	
総合評価	平成21年度における事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	平成21年度については、第30回の記念開催となり、実行委員会としては、市民アンケート等を参考にしながら市民が望む記念企画を開催したいと考えている。そのため事業については、拡充の方向である。予算については、企画運営の見直し等により経費削減に努めているが、市からの補助金についても削減しているため、厳しい状況となっており、記念企画の開催にあたっては、引き続き経費削減に努めるもの、市からの補助金を増額していくことが必要と考えられるため、増額要望する。一方で、自主財源の確保にも努める。			
評価日	平成20年5月13日	記入者職氏名	コミュニティ推進課長 本田 静香	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性 総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由						
	評価日						
⑨個別計画における方向性	内部優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業						
評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	1261
基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり			
施策の方向	6地域での交流機会の拡大			